

38	名称	ナナカマド	生育標高限界	生育環境について	花、実、紅葉、幹など
			1600m程度	日当たりが良く、肥沃で水気のある土壌を好む。	5〜6月に白い花を咲かせ、10〜11月頃に実を熟す。
樹高	5m〜20m		特徴、由来など	寒地では花、紅葉、赤色の果実等を鑑賞することができるが、暖地では価値を発揮できないかもしれない。庭木として楽しむのなら、樹高が2m程にしかないナンキンナナカマドがおすすめ。	
科名	バラ科				



39	名称	ネムノキ	生育標高限界	生育環境について	花、実、紅葉、幹など
			1000m程度	日陰では花つきが悪くなるため、日当たりが良い場所が適する。	7～8月、枝先にピンク色をした雄しべの柄が目立つ花を咲かせる。
樹高	5m～20m		特徴、由来など	夜になるとオジギソウのように葉を閉じ垂れ下がって眠るため「ネムノキ（合歓の木）」という名が付いている。 豆果は長さ10cm程で平べったく、10～15個の種子が入っている。	
科名	マメ科				



40	名称	ノウゼンカズラ	生育標高限界	生育環境について	花、実、紅葉、幹など
			1000m程度	日陰では花が咲かないため、日当たり、水はけの良い場所を選ぶ。	7～8月頃、枝先から6～7cm程の橙黄色の花を付ける。
樹高	ツル		特徴、由来など	剪定が容易なことと枝を四方に下垂させることによって、花つきを良くすることができる。雨が続くについた蕾を落としてしまう。	
科名	ノウゼンカズラ科				



41	名称	ノリウツギ	生育標高限界	生育環境について	花、実、紅葉、幹など
			1400m程度	日当たりが良いところから半日陰まで、水はけが良ければ土質は選ばない。	7～9月に花が咲かせる。
樹高		5m以下	特徴、由来など	樹高が4m近くになり、日本のアジサイの中では特殊である。 樹皮から製紙用の糊を作るところから、糊空木という名が付いたといわれている。	
科名		ユキノシタ科			



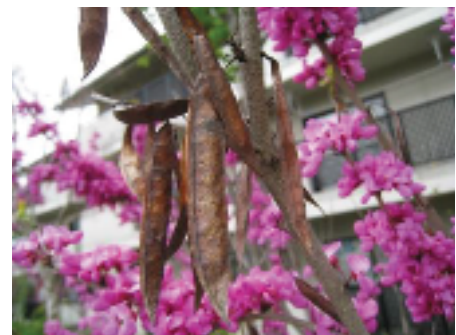
42	名称	バイカウツギ	生育標高限界	生育環境について	花、実、紅葉、幹など
			1400m程度	日当たりが良いところから半日陰まで、水はけが良ければ土質は選ばない。	6月に枝先の節に対生の花が付く。
樹高	5m以下		特徴、由来など	香りを楽しむには風当たりが弱いところが良い。 花後は、花つきの悪くなった古い枝を数本間引くように株元近くから切る。	
科名	ユキノシタ科				



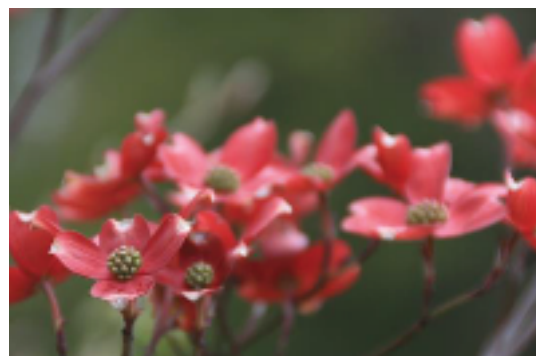
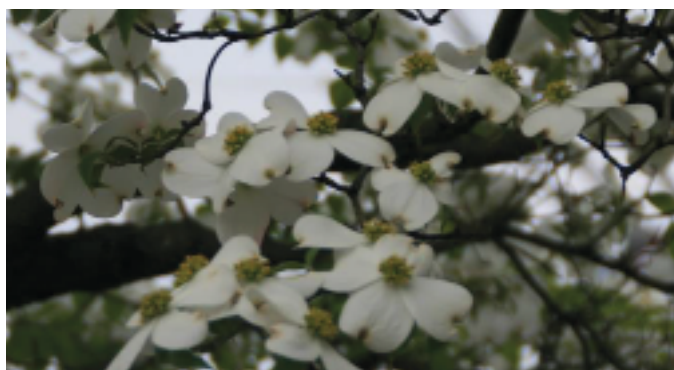
43	名称	ハイビヤクシン	生育標高限界	生育環境について	花、実、紅葉、幹など
			1600m程度	日当たりが良く水はけの良い場所を好み、日陰では生育できない。	4月頃に開花し、8mm程度の球果を付ける。
樹高	5m以下		特徴、由来など	別名がビヤクシンであるイブキの変種という説もある。葉は濃い緑色で厚みのあるモコモコとしたような印象になり、針葉樹独特のハードな感じもある。枝は地をはって横に伸び広がる。	
科名	ヒノキ科				



44	名称	ハナズオウ	生育標高限界	生育環境について	花、実、紅葉、幹など
			1000m程度	日陰では花のつきが悪くなってしまうため、日当たりの良い場所に植える。	4月頃、葉に先立って紅紫色の蝶形花が集まって咲く。
樹高	5m以下		特徴、由来など	日本では樹高は5m程にしかならないが、原産地の中国では樹高15mに達する。暑さにも寒さにも強いため、初心者でも育てやすい樹木。	
科名	マメ科				



45	名称	ハナミズキ	生育標高限界	生育環境について	花、実、紅葉、幹など
			900m程度	日当たり、水はけの良い場所を好む。	4～5月に花が咲く。花弁に見えるのは総苞で花は中心の粒々。
	樹高	5m～20m	特徴、由来など	1912年にワシントンD.C.の親日家たちに贈った3000本のサクラの苗木の返礼として、1915年にアメリカから送られた。 ヤマボウシに似ていたためアメリカヤマボウシとも名付けられていた。	
	科名	ミズキ科			



46	名称	ハナモモ	生育標高限界	生育環境について	花、実、紅葉、幹など
			1200m程度	日当たり、水はけの良い土壌が適し、風当たりの強くないところを好む。	5月頃に白、桃、紅色などの八重咲きを咲かせる。
樹高		5m以下	特徴、由来など	分類的には果実用のモモと同じ種だが、モモの園芸種で花が美しいものをハナモモという。4月下旬以降など、剪定が遅れると翌年の花はほとんど期待できなくなるため注意。	
科名		バラ科			



47	名称	ヒメシャラ	生育標高限界	生育環境について	花、実、紅葉、幹など
			1800m程度	日当たりを好むが乾燥を嫌うため、西日は極力避けるようにする。	7～8月、葉腋に2cm程の白い花を咲かせる。
	樹高	5m～20m	特徴、由来など	樹皮が黄赤色でスベスベしているのが特徴。 ナツツバキに樹皮も花も似ているが、花がナツツバキに比べて大変小さいため見分けは付けることができる。	
	科名	ツバキ科			



48	名称	ぶどう (ナイアガラ)	生育標高限界	生育環境について	花、実、紅葉、幹など
			1000m程度	日当たりが良く肥沃な土壌を好む。	6月頃花を咲かせ、8～10月頃実を付ける。
	樹高	5m以下	特徴、由来など	原産地はニューヨーク州のナイアガラで、日本の全収穫量のほとんどが長野県と北海道である。寒さに強く、一日の温度差が大きい場所に適している。	
	科名	ブドウ科			



49	名称	ブルーベリー	生育標高限界	生育環境について	花、実、紅葉、幹など
			1400m程度	ハイブッシュ系とラビットアイ系が存在し、どちらも酸性土壌を好む。	5月頃に白色の小さい釣鐘状の花を房状に付ける。
	樹高	5m以下	特徴、由来など	ラビットアイ系は夏の高温、乾燥に強いが、耐寒性に欠ける。ハイブッシュ系は高温、乾燥に弱く、冬の低温に強いいため、ラビットアイ系よりも茅野市に適すると思われる。	
	科名	ツツジ科			



50	名称	プルーン	生育標高限界	生育環境について	花、実、紅葉、幹など
			1200m程度	日当たりが良く肥沃な土壌を好む。	6月頃に花を咲かせ、9～10月頃に実を付ける。
樹高	5m～20m		特徴、由来など	消毒はまめに、特に7、8月に行わないと実に虫がつき、中を食べられてしまう。よく熟し実の上にしわが寄ってくる頃が食べ頃。	
科名	バラ科				



51	名称	ホオノキ	生育標高限界	生育環境について	花、実、紅葉、幹など
			1500m程度	日当たりの良い場所か明るい半日陰の湿り気のある場所に植える。	5～6月、枝先に15cm程の強い芳香のある花を咲かせる。
樹高	20m以上		特徴、由来など	日本中のどこの山でも見ることができ、樹高は20m程になる。 葉も大きく20～40cmで大変よく目立ち、この葉を使って焼く飛驒の朴(ホオ)葉味噌が有名である。	
科名	モクレン科				

